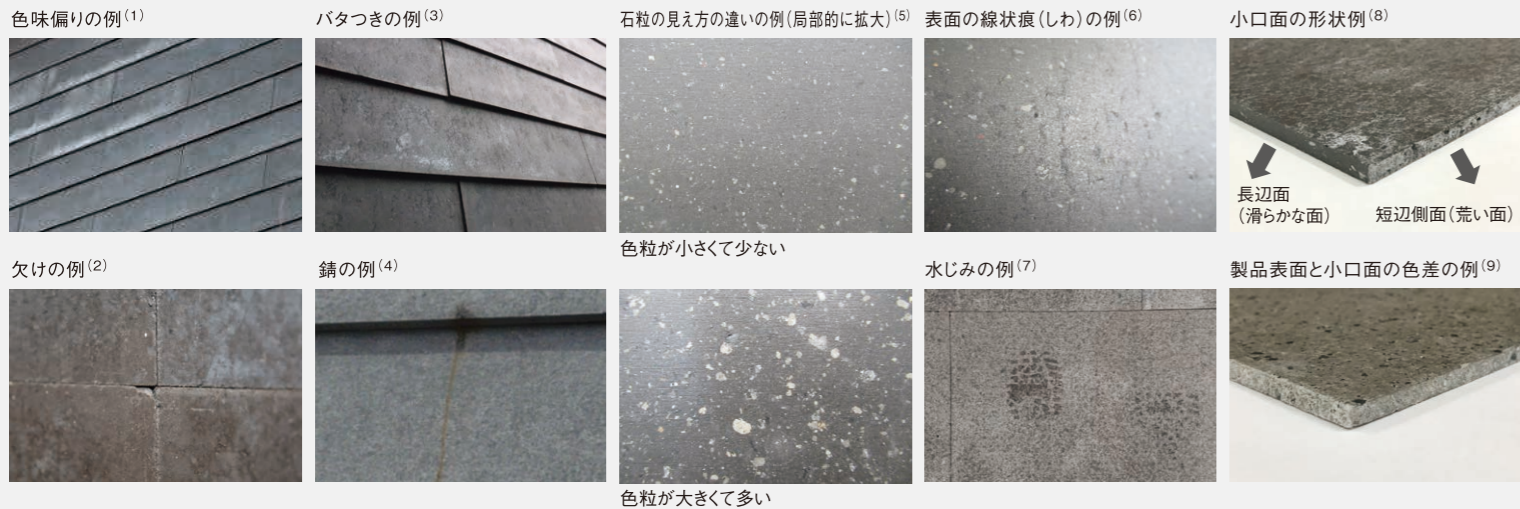


## typeM ご採用にあたり(必ずお読みください。)

### 共通 注意事項

#### 商品について

- 本製品は素材から出た自然な色合いのため、一枚一枚の色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)の模様は、大きく異なります。色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)の模様の指定は、できませんのであらかじめご了承ください。色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)による返品については、ご対応しかねます。
- 本製品は施工配置により色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)の偏りが出る場合がございます。配置は、あらかじめ現場にて調整してください。(1)
- 本製品の切断面に微細な欠けがありますが、不良品ではございません。あらかじめご了承ください。(2)
- 年数が経過するにつれて、製品本体の反りおよびバタつきの発生、外観表面の白華(エフロレッセンス)部分の増減、自然環境により色味が変わる可能性があります。(3)
- 軒の出が少ない建物の場合、雨などの自然環境の影響で数年でやや白く変化します。色の变化を好まれない場合は他の商品をお勧めします。 ※typeM\_LAP(屋外壁)のみ
- 壁面の向きによって経年の変化の状況が変わります。特に太陽光が当たりやすい面で板の反り、色の变化等が大きくなります。 ※typeM\_LAP(屋外壁)のみ
- 原材料に含まれる鉄分の影響で錆が生じる場合がございます。(4)
- 本製品は材料特性上、自然素材である石粒の見え方(色味、大きさ、形状、量)が一枚一枚異なります。 ※typeM\_FLAT 研磨のみ(5)
- 本製品の製造特性上、表面に線状痕(しわ)のある板が含まれる場合があります。(6)
- 本製品は意匠上、すり傷等が目立つ場合がございますのでご注意ください。
- 本製品はセメントを主原料とした製品であるため、水じみや汚れが目立つ場合があります。(7)
- 本製品は素材感を活かした仕上げのため、使用状況や歩行量によっては、白華(エフロレッセンス)の減少や汚れが付着する場合があります。 ※typeM\_FLAT(屋内床)のみ
- 本製品の小口切断面は、製造仕様上、短辺側面が荒い切断面となっております。あらかじめご了承ください。(8) ※typeM\_FLAT、typeM\_FLAT 研磨のみ
- typeM\_FLAT 研磨は、製品表面とカット面で色味が違いが出る場合があります。あらかじめご了承ください。(9) ※typeM\_FLAT 研磨のみ
- typeM\_FLATヘリンボーンは、製造工程上その他の商品と比べて白華(エフロレッセンス)が多い場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 製品保証の対象となります(色の保証はございません)。 ※typeM\_LAP(屋外壁)のみ  
保証の内容についてはSOLIDO ウェブサイトをご参照ください。  
([https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/typeM\\_LAP/inadopt/](https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/typeM_LAP/inadopt/))



#### ご購入の前に

- ご購入の前に  
・このカタログ掲載商品のメーカー希望小売価格には、配送・設備調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。  
・商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。  
・印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。  
・このカタログの内容についてのお問い合わせは、お近くの販売店にご相談ください。  
もし販売店でお分かりにならないときには、弊社におたずねください。

- ご注文に際して  
・お買い上げに際してのお届けは、現場配送の場合は軒先渡しとなります。  
・その他配送条件は、当社カラーベストと同様となります。

#### お手入れ方法について

- 日常のお手入れは、乾拭きをしてください。床面の場合は、ほうきや掃除機で砂やほこり等を取り除いてください。
- 汚れがついた場合は、すぐに水または薄めた中性洗剤を含ませた、柔らかい布(またはスポンジ等)で汚れをふき取ってください。柔らかい布またはスポンジ等で、表面の水分を十分拭き取ってください。  
※中性洗剤を使用した場合は、柔らかい布またはスポンジ等で中性洗剤を十分ふき取ってください。
- 製品表面が変質する場合があるので、水または薄めた中性洗剤以外のものでも洗浄しないでください。  
※金属タワシ等の硬いブラシ、高圧水による洗浄やスチーム洗浄の使用は外観を損なうおそれがあるため使用しないでください。  
※酸性タイプの洗剤を使用すると、白華(エフロレッセンス)が消えることがあります。

洗浄に使用できないもの	有機溶剤類(ラッカーシンナー、灯油、石油ベンジン等)、クレンザー類(ジフ、ホーミング、磨き粉等)、酸性・アルカリ性洗剤(マジックリン、マイベットのドメスト、サンポール等)、漂白剤(ハイター、ブライト等)、その他、業務用洗剤等、本製品を傷めるおそれのあるものは使用しないでください。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- メラミンフォームやデッキブラシなどによる清掃は表面に微細なキズを付けるおそれがあるため、使用しないでください。
- ポリッシャー等での清掃は、表面が摩耗して滑りやすくなるため、使用しないでください。 ※typeM\_FLAT(屋内床)、typeM\_FLAT 研磨(屋内床)のみ
- 株式会社リンレイ製の「石床用樹脂ワックス」を塗ることで初期外観を維持し、汚れが付にくくなります。ワックスを使用するとつやが変わりますので、事前にご確認の上ご使用ください。約6か月を目安にワックスの再塗布をご検討ください。 ※typeM\_FLAT(屋内床)、typeM\_FLAT 研磨(屋内床)のみ
- 鳥の糞や砂ぼこり、藻、カビなどの汚れを落とす場合には、柔らかいブラシ等を利用して軽く水洗いしてください。水洗いで落ちない場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布等に付けて洗浄し、水道水で洗い流してください。 ※typeM\_LAP(屋外壁)のみ
- 土台部、屋根下部、入隅部、ベランダなどで雪が積もったり、吹き溜まりができる部分では本製品が劣化するおそれがありますので、積雪をこまめに除去してください。 ※typeM\_LAP(屋外壁)のみ
- 鳥の糞や砂ぼこり、藻、カビなどの汚れを落とす場合には、水で濡らした柔らかいブラシやスポンジ等を利用して少量の水で洗浄してください。水洗いで落ちない場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。中性洗剤を使用した場合は、水で濡らした柔らかいブラシやスポンジ等を利用して少量の水で中性洗剤を取り除いてください。直接壁面に大量の水をかける清掃は、行わないでください。 ※typeM\_FLAT(屋外壁)のみ

#### 設計上のご注意

- ▲ ● 弊社が定めた「LAP-WALL/SOLIDO typeM\_LAP設計施工マニュアル」、「SOLIDO typeM\_FLAT/SOLIDO typeM\_FLAT 研磨 推奨施工法」、「SOLIDOウェブサイトの「ご採用にあたり」「参考納まり図」をご確認いただき、ご採用者様にて、落下、脱着、破損等の事故が起きないように適切に設計・施工してください。
- ▲ ● 適用範囲以外の用途で使用された場合の責任は、負いかねます。
- ▲ ● 曲面施工など本製品を曲げての施工は、割れや脱着の原因となるのでお止めください。
- 防耐火規制等の法規制について、採用される認定や使用される部位の規制等を確認していただき、使用可否判断を行ってください。
- 以下の場所での使用については、水や熱等の影響により変形・変色などの不具合のおそれがあるため推奨しておりません。  
・水が常に溜まる場所、汚れが心配される場所(例:トイレ、洗面、キッチン周辺)でご使用になる場合は、製品に水が溜まらないよう注意し、汚れが付着しにくいようにしてください。  
・火気の使用により製品が高温になる場所(例:暖炉、ガスコンロ周辺)でご使用になる場合は、火災予防条例等関連法規を確認し、製品に火が直接当たったり、高温にならないように製品と適切な距離をあける、または、遮熱板を設置する等の対策を行ってください。  
※SOLIDO typeMは、製品仕様上、常時高温になるような場所ではご使用になれません。  
※薪ストーブ等の器具をご使用の場合は、器具メーカーに適切な離隔距離をご確認ください。

#### 施工・使用上のご注意

- 弊社が定めた「LAP-WALL/SOLIDO typeM\_LAP設計施工マニュアル」、「SOLIDO typeM\_FLAT/SOLIDO typeM\_FLAT 研磨 推奨施工法」をご確認いただき施工してください。(SOLIDOウェブサイトに掲載しています)
- 本製品は施工されるまで屋内にて保管ください。屋外にて保管する場合は濡れないよう必ず防水シートをかけて保管してください。
- モルタルやコンクリート製品同様、濡れた部分は強アルカリ性になります。濡れた部分に触れた時はすぐに水で十分に洗い流してください。
- 商品の意匠的な特性上、すり傷等がつくと目立ちますので取り扱いに注意して施工してください。
- 後付け付帯物は構造体か脱落の危険のない下地に固定してください。本製品だけに固定すると本製品の破損や付帯物の脱落の原因となります。
- 一枚一枚の色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)が大きく異なりますので、施工前に色味、外観表面の白華(エフロレッセンス)の確認をして施工を行ってください。
- 本製品は、表裏面で仕上げ仕様異なります。本製品の裏面にロット番号および品番を印字しておりますので、表裏を確認して施工してください。
- 本製品切断加工の際はシングルカッターまたはダイヤモンドカッター(純正品または市販品)をご使用ください。  
※細かい加工等をする際は、ダイヤモンドカッターをご使用ください。
- 市販品のダイヤモンドカッターを使用する場合、刃はコンクリート用乾式切断タイプとしてください。  
また、刃の形状については右図をご確認ください。  
※木材用、鉄鋼用、窯業系サイディング用は刃が焼付くため使用できません。
- ダイヤモンドカッターによる本体切断加工の際は保護メガネ、防塵マスクを着用し、集塵機能付きの切断工具、防塵マット等を敷いて防塵に注意して切断してください。
- 埃やにおいにより、作業や入居者の健康を損なわないよう以下の点に注意して施工を行ってください。  
・施工時は埃やにおいが室内に充満しないよう必ず換気を行ってください。  
・施工後引渡しまでは、室内ににおいが残らないよう十分換気を行ってください。
- 本製品の補修部材は設定しておりません。



## typeM\_LAP【屋外壁】注意事項

設計上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 通気パネル工法と合板下地工法で下地や本体の施工方法が異なる項目があります。「LAP-WALL/SOLIDO typeM_LAP設計施工マニュアル」をご確認ください。</li><li>● 千鳥張り、ストレート張りで施工高さ、開口部納まりなどの設計基準が異なる項目があります。「LAP-WALL／SOLIDO typeM_LAP設計施工マニュアル」をご確認ください。</li><li>● 施工エリアは、日本全国ご採用いただけます。</li><li>● 葺き足を伸ばす、斜め張りの施工は、防耐火構造認定の仕様外となり、また雨漏りの原因となりますのでお止めください。(上図参照)</li></ul>



施工・使用上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 千鳥張り、ストレート張りで施工高さ、開口部納まりなどの施工基準が異なる項目があります。「LAP-WALL／SOLIDO typeM_LAP設計施工マニュアル」をご確認ください。</li><li>● 本製品の留め付けには釘(付属品)またはビスをご使用ください。 ※通気パネル工法で施工する場合、専用の釘またはビスをご使用ください。</li><li>● 所定の本数の釘(ビス)で施工しないと、耐風性能が低下し強風時の飛散の原因となります。</li><li>● 端部の釘(ビス)留めは、端打ち寸法を30×30mm以上確保し留め付けてください。端打ち寸法が不足すると、割れやクラックの原因となります。</li><li>● 釘(ビス)を打込みすぎると先端が持上がり、先端の口開きや割れの原因となります。</li><li>● 小幅物の施工は、リング釘(脳天釘打ち用)と接着剤(外壁:ルーフキーパー)を併用してください。 ※リング釘(脳天釘打ち用)の留め付けは必ず、ドリルで先孔(φ2mm程度)をあけてから行ってください。</li><li>● 釘頭補修塗料は釘頭のみを垂れないように塗布してください。釘頭からはみ出して大きく塗布すると目立ちます。</li><li>● <b>釘頭補修塗料は本体の補修にはご使用いただけません。</b></li></ul>

## typeM\_LAP【屋内壁】注意事項

設計上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 床面近くには、巾木等を入れ、清掃用具等の接触による割れ対策をしてください。</li><li>● 浴室やサウナ室での使用は、水や熱、湿気等の影響により反りや割れなどの原因となるのでお止めください。</li><li>● 以下の場所での使用については、水や熱等の影響により変形・変色などの不具合のおそれがあるため推奨しておりません。 ・水が常に溜まる場所、汚れが心配される場所(例:トイレ、洗面、キッチン周辺)でご使用になる場合は、製品に水が溜まらないことと、汚れが付着しにくいことの対策を行ってください。 ・火気の使用により製品が高温になる場所(例:暖炉、ガスコンロ周辺)でご使用になる場合は、火災予防条例等関連法規を確認し、製品に火が直接当たったり、高温にならないように製品と適切な距離をあける、または、遮熱板を設置する等の対策を行ってください。</li></ul>

施工・使用上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 本製品の留め付けには釘(付属品)またはビスをご使用ください。</li><li>● 端部の釘(ビス)留めは、端打ち寸法を30×30mm以上確保し留め付けてください。端打ち寸法が不足すると、割れやクラックの原因となります。</li><li>● 釘(ビス)を打込みすぎると先端が持上がり、先端の口開きや割れの原因となります。</li><li>● 小幅物の施工は、リング釘(脳天釘打ち用)と接着剤(タイルエースPro(セメダイン製)、または、MPX-7(コニシ製))を併用してください。 ※リング釘(脳天釘打ち用)の留め付けは必ず、ドリルで先孔(φ2mm程度)をあけてから行ってください。</li><li>● ルーフキーパー、スーパーKMEWシールはVOC放散速度の測定を行っていないため、屋内壁では使用しないでください。</li><li>● 釘頭補修塗料は釘頭のみを垂れないように塗布してください。釘頭からはみ出して大きく塗布すると目立ちます。</li><li>● <b>釘頭補修塗料は本体の補修にはご使用いただけません。</b></li></ul>

## typeM\_FLAT【屋外壁】注意事項

設計上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 通常の外壁材としては、使用できません。屋内に準ずる部位にのみご使用いただけます。</li><li>● 施工可能な部位等、設計検討時には必ずお問い合わせください。</li><li>● 十分な軒の出があり、激しい降雨でも壁面に雨が掛かるおそれのない部位にご使用ください。</li><li>● 突付けて施工すると、本製品の割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つ場合がありますので、ご注意ください。</li><li>● 工事店様とご相談の上、必要に応じて目地をとるように設計してください。</li><li>● 4mを超える高さには、ご使用いただけません。</li><li>● 推奨施工下地は、コンクリート・モルタル面です。</li><li>● typeM_FLAT 研磨は屋内使用のみのため、ご使用いただけません。</li></ul>

施工・使用上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 最下段は、地面から離して、本製品に雨水等が滞留しないように施工してください。</li><li>● 本製品の施工は「タイルエースPro」もしくは、屋外用途に適した同等品(1液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤)もご使用いただけます。</li><li>● その他注意事項は、P.24&lt;タイルエースProによる全面接着で施工する場合&gt;をご確認ください。</li></ul>

## typeM\_FLAT／typeM\_FLAT 研磨【屋内壁】注意事項

設計上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● 充填目地材については、下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定の上、ご使用ください。</li><li>● 間接照明を当てる場合には、目地幅が狭いと不陸が強調されます。不陸調整が難しい場合は、目地幅を広くとることをお勧めします。</li><li>● 床面近くには、巾木等を入れ、清掃用具等の接触による割れ対策をしてください。</li><li>● 浴室やサウナ室での使用は、水や熱、湿気等の影響により反りや割れなどの原因となるのでお止めください。</li><li>● 以下の場所での使用については、水や熱等の影響により変形・変色などの不具合のおそれがあるため推奨しておりません。 ・水が常に溜まる場所、汚れが心配される場所(例:トイレ、洗面、キッチン周辺)でご使用になる場合は、製品に水が溜まらないことと、汚れが付着しにくいことの対策を行ってください。 ・火気の使用により製品が高温になる場所(例:暖炉、ガスコンロ周辺)でご使用になる場合は、火災予防条例等関連法規を確認し、製品に火が直接当たったり、高温にならないように製品と適切な距離をあける、または、遮熱板を設置する等の対策を行ってください。</li><li>● 推奨施工下地はせっこうボード(GB-R・GB-F・GB-S、9.5mm以上)、合板(9mm厚以上)、けい酸カルシウム板(比重1.0以上、6mm厚以上)です。モルタル下地の場合は、両面テープが付着しにくいため「タイルエースPro」をご使用ください。</li></ul>



遮熱板設置例

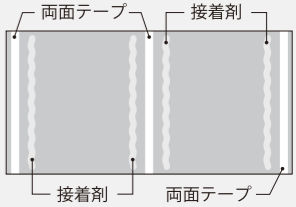
施工・使用上のご注意
<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>本製品の施工は、「タイルエースPro」もしくは、接着剤「MPX-7」と両面テープ「TMテープW1」を併用して行ってください。</b> その他、用途に適した同等品(1液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤)もご使用いただけます。</li><li>● <b>本製品の反りや接着不良の原因となりますので、乾燥硬化型(エマルジョンタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は使用しないでください。</b></li><li>● <b>本製品の表面に施工用接着剤が付着した場合は、硬化する前に広げないようにウエスで拭き取り、更にアルコールで拭き取ると取り除きやすくなります。</b></li><li>● 目地を埋める場合は接着剤が完全に硬化した後に行ってください。</li></ul>

### <タイルエースProによる全面接着工法で施工する場合>

- **本製品の貼り付け作業開始時に1～2枚剥がして、本製品の裏面に接着剤が均一にかつ6割以上付着しているかご確認の上、施工を始めてください。**  
**塗布状態が均一でない、また付着量が少ない場合、本製品の反りや浮き、脱落による破損のおそれがあります。**
- 下地の不陸、製品の厚み、反りを考慮して、極力、段差が出ないように調整しながら施工してください。
- 下地は、以下の内容に関して事前にご確認の上、施工してください。
  - ・モルタル下地の表面に粉ふきの多い場合や、表面強度が弱い場合は、接着不良やはがれが発生することがあります。
  - ・下地の不陸は調整してから施工するようにしてください。仕上がりの表面に段差や接着不良、割れが発生することがあります。
  - ・モルタル下地の不陸は、2mにつき、1mm以下としてください。合板継ぎ目の段差については、1mm以下としてください。
  - ・モルタル下地の場合は、十分に乾燥させてから、施工してください。モルタル内部が乾燥していない状態で施工すると、接着不良や反りが生じます。

### <MPX-7によるビード接着工法(両面テープ併用)で施工する場合> ※床面の施工には使用できません。

- 両面テープ、接着剤は、右図のように配置してください。  
本体を切断した場合でも、段差や傾きの原因となるため、必ず両端に両面テープを配置してください。
- 接着剤は、鉛筆くらいの太さ(直径約7mm)で、まるく盛り上げるように塗布してください。  
薄く平らに塗布した場合、本製品の反りや浮き、脱落による破損のおそれがあります。
- 下地は、以下の内容に関して事前にご確認の上、施工してください。
  - ・モルタル下地は、両面テープが付着しにくいため施工できません。上記「タイルエースPro」での施工をご検討ください。
  - ・下地は継ぎ目を含めて、不陸を調整してから施工するようにしてください。仕上がり表面に段差や接着不良、割れが発生することがあります。
- 目地部から下地材が見える場合がありますので、事前に目地部分の下処理を行ってから施工してください。



### <金属部材を使用する場合>

- 出隅を使用する場合は、はじめに出隅を施工し、本体やその他部材を順次施工してください。
- 部材を施工する際、巾木には「タイルエースPro」または「TMテープW1」、出隅・見切り・目地には「タイルエースPro」または「MPX-7」等を使用して部材を留め付けてください。
- ビード接着工法で施工する場合、使用する部材に合わせて、両面テープの貼り付け位置を調整してください。  
両面テープに接触して部材が入らなくなるおそれがあります。

## typeM\_FLAT / typeM\_FLAT 研磨【屋内床】注意事項

### 設計上のご注意

- 床暖房、直接熱の伝わる暖房器具の場所では、変形・変色・割れ・目地空きなどの不具合のおそれがあるため、ご使用いただけません。
- 本製品は、戸建て住宅、マンションの玄関・土間、小規模店舗・事務所などの軽歩行の床にご使用ください。中歩行、重歩行の床にはご使用できません。
- **素足での使用が想定される部位へはご使用いただけません。**  
セメント製品のため端部や継ぎ目の凹凸でケガをするおそれがあります。
- スロープ等勾配がある箇所は、滑るおそれがありますので、ご使用いただけません。
- **階段の段鼻や玄関の上り框部分等へ施工の際は、端部が出っ張らないように施工してください。**  
本製品が破損するおそれがあります。右図をご参照ください。
- 突付けて施工すると、本製品の割れ、欠け等の不具合や、部分的な目地の隙間や段差が目立つ場合がありますので、ご注意ください。  
工事店様とご相談の上、必要に応じて目地をとるように設計してください。
- 床面で使用する際は、埃詰まり、隙間や段差の目立ちを軽減するため、「HLステンレス目地材」を使用するか、3～5mm程度あけて、目地材を充てんすることをお勧めします。
- 充填目地材については、下地条件、使用環境に応じ適切なものを選定の上、ご使用ください。
- 浴室やサウナ室での使用は、水や熱、湿気等の影響により反りや割れなどの原因となるのでお止めください。
- 以下の場所での使用については、水や熱等の影響により変形・変色などの不具合のおそれがあるため推奨しておりません。  
・水が常に溜まる場所、汚れが心配される場所(例:トイレ、洗面、キッチン周辺)でご使用になる場合は、製品に水が溜まらないこと、汚れが付着しにくいことの対策を行ってください。
- 床面で使用する際に適した下地は、根太あり(303mmピッチ)の場合は、合板12mm厚以上または9mm厚2枚重ね、根太なしの場合は、合板24mm厚以上または、モルタルです。



### 施工・使用上のご注意

- 本製品の床用途での貼り付けには、「タイルエース床用」もしくは、**床用途に適した同等品(1液湿気硬化型変成シリコーン樹脂系弾性接着剤)**をご使用ください。
- 本製品の反りや接着不良の原因となりますので、乾燥硬化型(エマルジョンタイプ、溶剤タイプ)の接着剤は使用しないでください。
- 本製品の表面に施工用接着剤が付着した場合は、硬化する前に広げないようにウエスで拭き取り、更にアルコールで拭き取ると取り除きやすくなります。
- 目地を埋める場合は接着剤が完全に硬化した後に行ってください。
- 本製品の貼り付け作業開始時に1～2枚剥がして、本製品の裏面に接着剤が均一にかつ9割以上付着しているかご確認ください。  
塗布状態が均一でない、また付着量が少ない場合、本製品の反りや浮き、脱落による破損のおそれがあります。
- 下地の不陸、製品の厚み、反りを考慮して、極力、段差が出ないように調整しながら施工してください。  
製品の反りは、重しをのせて養生することで軽減することができます。
- 下地は、以下の内容に関して事前にご確認の上、施工してください。
  - ・モルタル下地の表面に粉ふきの多い場合や、表面強度が弱い場合は、接着不良やはがれが発生することがあります。
  - ・下地の不陸は調整してから施工するようにしてください。仕上がりの表面に段差や接着不良、割れが発生することがあります。
  - ・モルタル下地の不陸は、3mにつき、7mm以下としてください。合板継ぎ目の段差については、1mm以下としてください。
  - ・モルタル下地の場合、十分に乾燥させてから、施工してください。モルタル内部が乾燥していない状態で施工すると、接着不良や反りが生じます。また、床施工の場合は、床鳴り、突き上げの原因になります。
- **履き物(スリッパも含む)を履いてご使用ください。セメント製品のため端部や継ぎ目の凹凸でケガをするおそれがあります。**
- 床に直接熱が伝わる暖房器具は使用できません。温度上昇により、反り、ひび割れ、目地隙間の発生するおそれがあります。
- 家具などの重量物を置く場合は、敷板などの緩衝材を敷き、重量が分散するようにしてください。
- 砂などの持ち込みですり傷が気になる場合は、フロアマット等を設置してください。
- 履き物や床面が濡れていると滑りやすくなります。フロアマット等を設置して履き物の裏面が濡れて滑らないようにご注意ください。
- 「HLステンレス目地材」を使用する際は、くし目3mmで下地と本製品裏面の両方に接着剤を塗布してください。  
下地だけに塗布すると目地材の足部に接着剤が塗布されず、端部の反りや浮きの原因になります。
- 床用途は、「MPX-7」によるビード接着工法(両面テープ併用)では、施工できません。ご注意ください。

## 技術資料

- **防耐火構造認定一覧(LAP外壁使用時)**  
弊社が取得している防耐火構造認定は、以下の通りです。防耐火構造が必要な建築物を設計の際は、弊社取得認定が使用できるかご確認ください。

合板下地工法			
千鳥張り			
認定区分	下地構造種類	認定番号 <sup>※2</sup>	耐火等級
防火構造	無機系 <sup>※1</sup>	PC030BE-3804(1)～(4)	2
	木造軸組 充てん断熱 (株)日本アクア「アクアフォーム、アクアフォームLITE」	PC030BE-3805-1(1)または(2)	
	外張断熱 <sup>※1</sup>	PC030BE-3634-2(1)～(4)	
	木造枠組 <sup>※1</sup>	PC030BE-2818-2(2)または(4)	
45分準耐火構造	鉄骨造 <sup>※1</sup>	PC030NE-0227-2(1)～(4)	3
	木造軸組 <sup>※1</sup>	QF045BE-1554(1)～(4)	
1時間準耐火構造	木造軸組 <sup>※1</sup>	QF045BE-1654(1)または(2)	3
	木造軸組 <sup>※1</sup>	QF060BE-1521-1(1)または(2)	
1時間耐火構造 <sup>※3</sup>	鉄骨造 <sup>※1</sup>	FP060NE-0254(1)または(2)	4

ストレート張り			
認定区分	下地構造種類	認定番号 <sup>※2</sup>	耐火等級
防火構造	木造軸組 <sup>※1</sup>	PC030BE-4057(1)～(4)	2
	鉄骨造 <sup>※1</sup>	PC030NE-0308(1)～(4)	2

通気パネル工法			
千鳥張り			
認定区分	下地構造種類	認定番号	耐火等級
防火構造	木造軸組 充てん断熱 無機系 <sup>※1</sup>	PC030BE-4146(1)または(2)	2
	(株)日本アクア「アクアフォームLITE」	国土交通省申請中	

- ※1 充てん断熱材としてはグラスウールまたはロックウールのみ適用できます。発泡プラスチック断熱材などは適用できません。
- ※2 認定番号末尾の( )は、認定仕様(断熱材・構造用面材等)により異なります。  
仕様の詳細については、SOLIDOウェブサイトに掲載している大臣認定別添をご参照ください。
- ※3 詳しくは「施設・店舗向け技術資料」の最新版をご参照ください。

- VOC放散速度について  
SOLIDO typeMは、「住宅部品VOC表示ガイドライン」対象外の製品ですが、VOC放散速度の確認をしています。


パナソニック(株) プロダクト解析センター	VOC放散速度(単位:µg/m <sup>3</sup> h)					
	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	クロロピリロソ
測定結果およびVOC 放散速度基準値	SOLIDO typeM LAP/FLAT/FLAT 研磨 0.4	<0.2	0.9	<0.2	<0.2	N.D.
	基準値(上限値)	5	38	29	550	32

JIS A 1901(小型チャンバー法)の試験開始後7日目の測定結果 試験条件:試験負荷率2.2m<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>、換気回数0.5回/時間、温度28℃、湿度50% ※2022年6月測定値

- 滑り抵抗係数C.S.R'値について(床面使用時)

平均 C.S.R'値		
表面状態	typeM_FLAT	typeM_FLAT 研磨
清掃・乾燥状態	0.61	0.67
水散布状態(400g/m <sup>2</sup> )	0.64	0.71

※JIS A1454:2016 17滑り性試験に準拠



「LAP-WALL/SOLIDO typeM\_LAP設計  
施工マニュアル」「SOLIDO typeM\_FLAT  
/SOLIDO typeM\_FLAT 研磨 推奨施工  
法」「施設・店舗向け技術資料」は、SOLIDO  
ウェブサイトよりダウンロード可能です。

- 商品に関するお問い合わせは、最寄りの営業所または、ケイミューホームページからお願いいたします。

ケイミューホームページ <https://www.kmew.co.jp/inquiry/>

カタログ、サンプルのご請求は、最寄りのケイミュー営業所にお問い合わせください。カタログのご依頼はホームページからお申込みいただけます。 <https://www.kmew.co.jp/catalog/>

ウェブサイトでSOLIDO typeMの仕様、納まり図、  
施工事例、最新情報等のご紹介をしております。

<https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/>



**ケイミュー株式会社**  
〔〒540-6013〕大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー 13F  
©KMEW Co., Ltd, 2024  
このカタログの記載内容は2024年3月現在のものです。  
■X7B243 24.03.15

ケイミュー株式会社のホームページアドレス <https://www.kmew.co.jp/>

